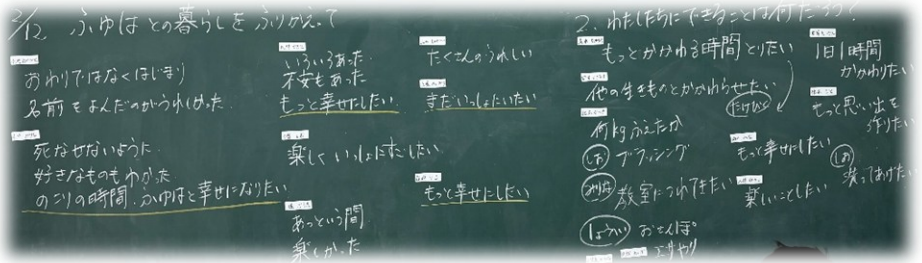


3年1組

 ふゆはとの思い出を形にしたい
 ～ふゆはとのお別れに向かって～


もうすぐお別れだから

10月29日から始まったふゆはとの暮らし、その暮らしの終わりが近づいていました。お別れが近づく2月中旬、学級で一度ふゆはとの暮らしを振り返ってみました。以下はその時の子どもたちの記述です。



はじめは不安な気持ちでした。だけど、だんだんすごしていくうちに楽しくなりました。～中略～でも、あっという間でふゆはとお別れですごくかなしいし、さみしいです。もっともっとふゆはといっしょにいたいけど、お別れはぜったいにしなきゃいけない。わたしは、ふゆはを3年1組で幸せにしたい。 Aさん

ふゆはが10月29日に来たときはすごくドキドキしたし、これからヤギさんとのくらしが待っているんだなと思ったけど、そうぞういじょうにたいへんで、楽しかったです。ふゆはとのくらし一日一日をたいせつにすることができました。～中略～ふゆはとのくらしの時間は少ない時間だけど、幸せにしたい、幸せになりたいから、休みの日もふゆはとの思い出をたくさん作っていきたいです。のこりのふゆはとの時間を大切にしたいです。 Bさん

ふゆはが来る前は「大じょうぶかなあ」とかしんぱいだった。だけど、ふゆはをおむかえして、いっしょにおさんぼしたり、いっしょにくらしたりしてきて、そろそろおわかれだと思うとすごくかなしいです。だけど、ふゆはといっしょにいる時間はまだあるから、のこりの時間は、ふゆはとなかよく、いっしょにいる時間1秒1秒を大切に、少ない日にちだけどふゆはを幸せにしていきたいし、自分たちも幸せになっていきたいです。10月29日に出会ったのにもう2月。本当にあっという間だった。まだのこりの時間があるからもっと幸せにして幸せになりたい。 Cさん

ふゆはといっしょにくらせて本当に楽しかったです。はじめは何の草が好きなのか、どこがふゆはのお気に入りの場所なのかいろいろ考えました。時にはじゃぐちをひねって水びたしになったり、小屋からだっそうして2-1の小屋に行ったりといろいろなことがありました。おせわに行くと、今にもとびだしそうなきおいで「メューメュー」となっていました。チモシーが大好きでかごにたくさん入れても目をはなしたすきに全部食べてしまういきおいで食べていました。名前もみんなでがんばって決めてつけた名前だから「ふゆは」とよべてとってもうれしかったです。

～中略～ぼくじょうからむりやりつれてきちゃったから、その分3-1で幸せにできることはまだあると思うから幸せにしたい。思い出をもっと作っていきたい。ふゆはが幸せになれるように、もっと協力をしてふゆはに幸せになってほしいという思いをとどけたい。 Dさん

この一年間生きものにくらすことを決めて10月29日にやっとおむかえできた!!とうれしい気持ちでした。～中略～ヤギさんをおかえて1ヶ月半くらいたって名前が決まりました。「ふゆは」に決まりました。その時、これで「ヤギさん」ではなく「ふゆは」とよべるのが分かった時、それが一番うれしかったことです。またこれから新しくふゆはと3-1の物語がはじまる。だからおわかれも始まりと思えるから、かなしいけどなぐさめになる。もうすぐおわかれだけど、楽しく終わりたい。 Eさん

ふゆはとの暮らしを思い出しながら振り返る子どもたちはいつも以上に真剣な表情でした。無言で、ただひたすらに自分の想いを綴っていました。そして別れが近づく今、その現実をしかと受け止めながらも、残された日々にもまだできることがある、やりたいことがある、そう前を向いている子どもたちでした。

その振り返りを踏まえて、残された期間でどんなことをやりたいのか話し合いました。「関わる時間をもっといっぱい」と「もっと思い出をつくりたい」といった意見が多く出ました。そこでふゆはとの思い出を形に残すということで、アルバムとキーホルダーを作ることにしました。アルバム作りでは、自分のお気に入りの写真を入れたいということで、何枚も何枚も納得のいくまで写真を撮り続ける姿がありました。撮ってきた写真をアルバムに綴じていく作業では、印刷されたふゆはの写真を見つめ、思い出に浸りながら一枚一枚を大切に綴じていました。「この時のふゆは、岩山から降りてこなくて大変だったよね」「お散歩の時、いつも草食べてて、なかなか小屋に戻らなかったよね」子どもたちの口から次々と語られるエピソードは、どれも昨日のここのように思い出される、ふゆはとの何気ない日常の一部です。その何気ない日常がもうじき終わりを迎える、だからこそお別れをする最後の瞬間まで、ふゆはを幸せにしたい、みんなで幸せになりたい、そう気持ちを新たにしました子どもたちでした。



ふゆはに届けたい わたしたちの歌



2月26日は今年度最後の参観日でした。最後の参観日ということで、子どもたちはできるようになったこと、伝えたいことを発表したいと願いました。そこで、学習発表会という形式で参観日の授業を行いました。その参観日では「音楽会で歌ったふゆはの歌をふゆはに聞かせたい」という子どもたちの願いから、ふゆはも教室に連れてきました。終始静かにしていたふゆはですが、4曲目の最初に子どもたちが「ふゆは!」と呼びかけると「メェ〜」と、まさかのお返事が返ってきました。これには子どもたちも大喜びでした。しかし、別れの歌である4曲目を歌い始めると、涙を流し始める子がいました。子どもたちにとってそれほどまでにふゆはの存在が大きなものであったと改めて感じ、聞いているこちらにも涙が止まりませんでした。

ふゆはとのお別れまであと少し、悲しさ、寂しさ、様々な感情がありますが、最後は「最高のお別れをしたい」そう子どもたちと決めて、最後の最後まで全力でふゆはとの暮らしを味わい尽くしたいと思います。

「ふゆは、ずっとずっと大好きだよ」

